

2024年6月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+25.9	大 宮 店	△0.5
堺 店	△0.8	柏 店	※2 +1.6
京 都 店	※1 +24.2	E C 店	+10.7
泉 北 店	+2.7	(株)高島屋各店計	+17.2
日 本 橋 店	+19.0	岡 山 高 島 屋	+0.3
横 浜 店	+10.9	岐 阜 高 島 屋	+44.5
新 宿 店	+22.8	高 崎 高 島 屋	+12.6
玉 川 店	+8.6	国 内 百 貨 店 計	+17.1

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

※1 京都店は「洛西店」の売上高を含みます。

また、2023年9月からレストラン街の運営を子会社に移管したため、それを調整した実質では前年比+26.8%となります。

※2 「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高を含みます。

■ 概況

○店頭売上高(※既存店対比)は、前年比+17.1% 2019年比+20.8% 2018年比+21.9%といずれも上回りました。

国内顧客は、梅雨に入ったことで晴雨兼用傘や、寒暖差対応のジャケットなどに動きが見られました。

また、インバウンドは、引き続きラグジュアリーブランドを中心とする高額品が伸長し、全体を押し上げました。

店頭売上高 前年比+17.1% 2019年比+17.1% (※+20.8%) 2018年比+18.0% (※+21.9%)

免税売上高 前年比+119.6% 2019年比+158.3% (※+158.8%) 2018年比+137.2% (※+138.2%)

免税を除いた店頭売上高 前年比+8.3% 2019年比+6.9% (※+10.5%) 2018年比+8.4% (※+12.4%)

○店舗別売上高は、大阪店、京都店、泉北店、日本橋店、横浜店、新宿店、玉川店、柏店、EC店、岡山店、岐阜店、高崎店が前年実績を上回りました。

○商品別売上高(当社分類による14店舗ベース)は、紳士服、紳士雑貨、婦人服、婦人雑貨、特選衣料雑貨、宝飾品、子供情報ホビー、スポーツ、リビング、美術、食料品、サービスが前年実績を上回りました。

以 上